



2021年7月 発行 理事会  
生活クラブ生活協同組合  
〒524-0044 守山市古高町 110 番地 8  
077-514-2028 組合員数 3018 名

インスタ公式  
フォローしてね!



## 組合員数 3000 名突破!!



6/18 現在で、組合員数が 3,002 名になりました👏👏👏

一人ひとりの声掛けで、着実に滋賀で生活クラブの輪が広がっています(^^) /

今年度は組合員数がグングンと伸びていますよ～♪

ご近所さんにも生活クラブの仲間がいるはず!!

社会全体の「食べる」ことへの意識や考えも少しずつ変わってきているのかな! ?♡

私たちが食べたい消費材を食べ続けるため、未来につなげていくため、そして「食べる力」を集めてみんなが暮らしやすい地域を作っていくため、仲間作りを続けていきましょう☆今年度の組合員数目標は 3,191 名! 大幅に超えそうな予感～♪♪♪



### 第 12 回通常総代会報告

2021年 6 月 14 日(月)第12回通常総代会が終了しました。

総代総数 105 名、出席(書面出席含む)92 名でした。昨年同様、コロナ禍の中での開催となりましたが、過去最多の当日出席者数となりました。

また、今年は総代会後に懇親会を開催。会場の規定があり軽食の持ち込み & 会食が出来ず、生活クラブの消費材を食べながら親睦を深める…ということは実現できませんでしたが、地区ごとに分かれ、生活クラブに入ったきっかけや消費材の話、学区会でやりたいこと等々を語りながら楽しいひとときを共有することができました。やっぱり、顔を合わせて話すっていいなあ～(^^) /



大津・湖南・湖東地区に分かれて懇親会。  
消費材の話はやっぱり盛り上がる～(^^)♪



たくさんの総代の参加が♡  
仲間の輪が着実に繋がっている証☆



滋賀独自材・KUMINO & 八十丸もお目見え☆  
託児部屋では、子どもたちがクミノで遊んでいましたよ～♪

## 総代・総代会とは??

総代会は毎年1回開催され、総代会で決められた方針に従ってすべての事業活動が行われます。それに参加する総代とは組合員の代表。任期は1年。生協では全ての組合員が、組合員歴や出資金の金額に関わらず、平等に総代になる権利をもっています。ここを変えたいなあ、こんなことをしたいなあ、こんな暮らしになったらいいのになあと普段思っていることはありませんか？

総代会は、そんな思いを直接参加して伝えることが出来る場です(^^♪

### はじめに(総代会構案書より)

誰もが予期せぬコロナとの生活がはじまって丸1年が経ちました。

みなさんの生活はどのように変わりましたか？それとも、マスク以外はこれまでとかわりませんか？新たに気がついたことはありますか？

この一年、外出制限や自粛生活が続ぎ、外食が減った結果、おうちごはんが必然と多くなり、全国的に生協の宅配事業は伸びました。私たちも、食べ慣れた大好きな消費材が毎週届く安心をより一層感じることができました。そして、国内原料を基本とした私たちの消費材は、欠品率が他の生協に比べると低かったと評価されています。しかし、急激な注文数の増加は、生産者や、物流に大きな負担をかけることにもなりました。欲しい時に欲しいだけ買えるという市場の仕組みが成り立たないこと、私たちが約束して食べ続けるという力をこれからも続け、仲間を増やしていく重要性を認識しました。

コロナ一色の一年、東日本大震災、福島第一原発事故から10年を迎えました。気候危機が深刻さを増し、脱炭素、CO2削減が急務です。政府は、2050年温室効果ガス排出ゼロと宣言し、2030年度に13年度比で46%削減する目標を発表しました。この目標を達成するために、化石燃料を使わない原発を最大限に活用するという、政府の思惑が透けて見えます。4月、福井県知事も、老朽化した美浜3号機、高浜1、2号機の再稼働に合意しました。放射能処理水の海洋放出も閣議決定され、連合会で抗議文を送りました。

この夏の国のエネルギー基本計画見直しに向け、「未来へつなげる♪エネルギーアクション！」と題して、原発はいらない、再生可能エネルギーを使おうと、署名や自治体に要望書を届ける活動をスタートしました。私たちには、生活クラブでんきがあります。多くの組合員が再生可能エネルギーを選び使うことが、もしかしたら、脱原発への近道なのかもしれません。

理事会活動、委員会活動は、感染対策を取りながら、2019年度と変わらず、活発に活動した一年でした。

人はひとと出会って、繋がって、関係をつくって、おしゃべりし、誰かを思ったり、思われたり、支えたり、支えられたり、時には衝突したりしながら、人間らしい営みを続けてきました。コロナ禍だからこそ、より一層豊かな人間関係を築き、ともに助け合いながら暮らしていける地域社会が必要です。自分たちで運営する居場所を持ち、様々な活動と、組合員が出会える場所、消費材に出会う場所にしていきます。また、ワーカーズという働き方で地域を作る方針を持ちました。

消費材の共同購入する仲間づくりをすすめ、Fフード、Eエネルギー、Cケアを自治する社会を作りましょう。誰かではなく、私たちの手できっとつくりだせます。

生活クラブという道具をおおぜいの組合員で使い、磨き続けることで実現できます。

13年目という道を、しっかりつくって歩んで行きましょう。



**第1号議案：2020年度活動報告承認の件**

**第2号議案：2020年度事業報告・決算報告及び剰余金処分案承認の件**

**第3号議案：2021年度活動方針(案)承認の件**

**第4号議案：2021年度事業方針・予算(案)承認及び役員報酬限度額承認の件**

**第5号議案：定款変更の件 全ての議案が満場一致で可決されました。**

**質問や意見もたくさんありました。議案とともにスペースの許す限り、掲載します！**

2020年3月時点での組合員数は、2,878名。目標2,875名を達成できました。

今年度もコロナ禍にあっても、組合員が出会い語り合える場所をつくり、仲間づくりと運動を進めます。目標は3,191名。そこで拡大の予算を組合員でも初めて持ちます。学区会、委員会活動にお友達を誘っての参加や生産者交流会、イベントを企画し、消費材に出会う場を作り拡大に取り組みます。組合員活動での新規加入目標20名です！イベントにもお友だちを誘って参加してね～☆

税引前剰余金10,823千円。計画の4,528千円を超過達成しました。

生活クラブの運営を成り立たせていくために、2020年度・1世帯あたりの1か月利用額目標は16116円でした。実際、4月度の利用額を見てみると、16116円未満の世帯は44%、16116円以上の世帯は56%でした。今年度の供給高は前年比103%を計画します。

私たちが食べたい消費材を食べる&未来につなげていくためにも、皆で消費材を注文し、仲間も増やしていきたいですね♪♪♪

コロナ禍の中でも工夫しながら組合員活動を続けてきました。理事会・委員会活動は、やりたいことが実現できる場所です。出会うことで見つかることや感じる楽しさがあります。興味のあるイベントや委員会があれば、ぜひ気軽に参加してみてくださいね～(^^)／

現在の配送センターでは、物流の量が許容範囲いっぱいです。生活クラブの運動をさらに広げていくために、職員の労働環境を改善していくために、新しい配送センターの取得をしていきます。

新しい取り組みとして、ワーカーズを地域に作り出していこうと方針を決めました。ワーカーズネットジャパン、生活クラブ連合会の支援を受け学習会をし、立ち上げにつなげます。

学区会について、地域で組合員がつながりを持ち、消費材のこと、活動や運動のこと、日々の暮らしの中にある地域の課題を語り合い、生活クラブに新たに出会える場所、新しい仲間と出会える場所となるよう取り組みます。具体的には、学区の組合員が3人集まり「ローカルメンバーズ」を結成し、学区会の運営を行います。このローカルメンバーズがある学区会には、活動費を、毎月5,000円、支給します。ローカルメンバーズに興味のある方、まずは学区会に参加してみてくださいね♪

2021年度役員補充選挙が行われ、水口瞳さん、中谷志野舞さんが理事に選ばれました。

Q1.車両や冷蔵庫の故障など、今年度は予想外の出費が多かったようです。そういった備品類の故障や新調にかかる予算をあらかじめ組んでおくことはできないのでしょうか？

A1.現在、事業を成り立たせていくために、剰余を増やすこと、累積欠損を返すことを第一に事業計画を立てることが求められています。車両や制服代など予算を組んでいるものもありますが、それを上回り対応が必要な事態が今年度はでてきた為、臨時の出費が多くなりました。

Q2. 信楽プロジェクトについて、1ポイントあたり 16000 円以上の利用としている理由、また 1 班あたりの人数はどれくらい知りたいです。

A2.信楽については、もともと配送が無かった地域ですが、組合員の声によりステーションのみの配送が始まりました。 組合員と話し合い、運営を成り立たせるための 16000 円以上の利用を条件に、班配達からスタートしました。現在は個配も開始し、1 班あたりの人数は平均 3.4 人です。

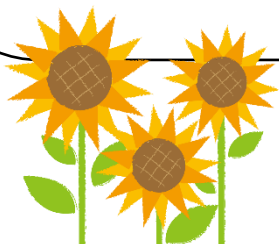
Q3.生活クラブでんきのキャッシュバックキャンペーンのお金はどこから出ているのでしょうか？

A3.現在、生活クラブでんきに新規加入した組合員に対して、1000 円キャッシュバック or 和牛ファミリーセットプレゼントをしており、生活クラブエナジーからの補助金を使って行っています。

Q4.プラスチック製品について、生活クラブ全体としても取り組まれているのでしょうか？滋賀からもプラスチック製品を減らす取組みや声掛けを続けたいです。

A4.生活クラブ連合会でもプラスチックを減らすことは重要な位置づけとなっています。滋賀の組合員活動の中では、お肉のトレイや野菜の包材をなくせないか？と生産者や野菜 BOX 仕分けセンターの見学等に出向きました。野菜の生産者も出来る限り包材を減らそうとしているが個配が多くなり包材無しでは野菜の鮮度を保つことが難しくなっていること、お肉のトレイをなくすためには今の機械ごと全て変えなくてはいけないこと等を知りました。

また、プラスチック製品を使わず滋賀の木やヨシを使う生活を広めようと、KUMINO や八十丸といった滋賀独自の消費材も作りました。すぐに消費材のプラスチックを減らすことは容易ではないですが、今後も、脱プラ・脱使い捨ては早急に取り組まなければならない課題という思いを持ち続け、持続可能な暮らしを広めるためにも、学習会やイベントも続けていきたいと考えています。



**今年度も楽しく、生活クラブの輪を広げていきましょう！**